

研究タイトル	大根由来イソチオシアネートの確認と抗菌素材としての応用可能性の検討
要旨	<p>ダイコンは収穫したときの状態を 100%としたときに、最終的にはそのうち約 30%(主に葉や皮)が廃棄されている。本研究では、廃棄されるダイコンの未利用部分、主に葉について有効活用する方法を模索するために、アブラナ科植物に由来するイソチオシアネート(ITC)に注目し、これがダイコンの葉にも含まれているのかを確認することと、その効果を検証すること、そして最終的にはどのように活用するのか応用可能性を検討することが目的である。現時点ではダイコンの葉のイソチオシアネートの含有の確認をする実験と、その効果の検証の予備的な段階まで到達した。実験の結果として、イソチオシアネートはダイコンの葉にも含まれていることが判明し、含有量はダイコン本体と比較して少量であることが明らかになった。今後は、試料の安定した長期保存を確立していくとともに、本格的に防虫効果及び抗菌作用を検証するための実験を進めていく。</p>